



2024年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年10月15日

上場会社名 株式会社ノダ 上場取引所 東
コード番号 7879 URL <https://www.noda-co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野田 励
問合せ先責任者(役職名) 取締役総務部長 (氏名) 良知 正啓 TEL 03-5687-6222
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期第3四半期の連結業績(2023年12月1日~2024年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第3四半期	49,305	△7.8	689	△80.4	734	△80.1	△1,936	—
2023年11月期第3四半期	53,482	△10.0	3,511	△53.8	3,684	△54.6	2,062	△57.5

(注) 包括利益 2024年11月期第3四半期 △1,088百万円(—%) 2023年11月期第3四半期 3,519百万円(△48.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第3四半期	△122.14	—
2023年11月期第3四半期	128.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年11月期第3四半期	75,056	41,531	48.2	2,311.20
2023年11月期	76,371	44,041	50.8	2,416.67

(参考) 自己資本 2024年11月期第3四半期 36,183百万円 2023年11月期 38,801百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	—	30.00	—	25.00	55.00
2024年11月期	—	22.50	—	—	—
2024年11月期(予想)	—	—	—	20.00	42.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年11月期の連結業績予想(2023年12月1日~2024年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	66,000	△9.9	350	△92.6	400	△92.0	△2,300	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年11月期3Q	17,339,200株	2023年11月期	17,339,200株
② 期末自己株式数	2024年11月期3Q	1,683,586株	2023年11月期	1,283,586株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年11月期3Q	15,857,795株	2023年11月期3Q	16,055,614株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年12月1日～2024年8月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善の動きが見られたものの、物価上昇が続くなか個人消費は力強さを欠き、また、ロシア・ウクライナ問題の長期化や中東情勢の悪化、不安定な為替相場など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

住宅業界においては持家を中心に住宅需要の低迷が続いており、建築費高騰や職人不足などの影響から当第3四半期連結累計期間の新設住宅着工は、前年同期比で総戸数4.0%減、床面積6.8%減となりました。また、住宅着工の不振などを受け、合板の荷動きも低調に推移しており、引き続き各社で生産量や入荷量の調整が行われました。

このような厳しい事業環境において当社グループは、収益確保のため、労働生産性の向上や固定費のコントロール、原材料の見直し、配送効率の向上など各種コストダウンの徹底に取り組みました。また、昨年4月に全面リニューアルした内装建材シリーズ「カナエル」の定着・拡販に注力するとともに、合板やMDF(中質繊維板)など素材については、市場動向や製造・輸入原価に即した販売価格の設定と適正な在庫水準の維持をはかりながら、シェアの確保に努めました。しかし、住宅の着工減が響き販売量が伸び悩むなか、原材料・副資材コストは引き続き高水準で推移し、さらに、物流コストの上昇や国産針葉樹合板の販売価格低下なども利益の圧迫要因となり、収益性は低下いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高49,305百万円(前年同期比7.8%減)、営業利益689百万円(前年同期比80.4%減)、経常利益734百万円(前年同期比80.1%減)となりました。また、第2四半期において繰延税金資産の取り崩しを行ったことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失1,936百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益2,062百万円)となりました。

◇セグメント別の状況

〔住宅建材事業〕

内装建材シリーズ「カナエル」をてこに、意匠性や省施工など多様なニーズに応える高付加価値製品の提案活動を継続するとともに、充実したラインナップの防音フロアやバリアフリー商品群「ユニバーサル ディレクト」等の拡販にも引き続き注力いたしました。さらに、軽量・重量いずれの床衝撃音も低減する木造遮音・防火工法「シャーオン」の本格展開を当第3四半期より開始し、木造集合住宅等における生活音対策として同工法の提案を積極的に行いました。これらの取り組みによって、新築戸建市場における需要の掘り起こしに加え、比較的堅調な貸家市場や、リフォーム・リノベーション市場、高齢者施設や公共・商業施設など非住宅市場のさらなる開拓を推進し、シェアの確保に努めました。

MDFについては、相次ぐ地震災害や国・自治体によるZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)普及促進を踏まえ、耐震性能や透湿性能に優れた「HBW」(構造用ハイベストウッド)の提案強化を引き続き推進いたしました。

しかしながら、住宅の着工減などの影響から建材・MDF製品全般について販売量が回復しないなか、生産調整の継続や高水準で推移する原材料・副資材価格などが利益を圧迫いたしました。この結果、住宅建材事業の売上高は29,396百万円(前年同期比5.1%減)、セグメント損失は43百万円(前年同期はセグメント利益244百万円)となりました。

〔合板事業〕

合板については、国産・輸入いずれも需要の低迷により販売量が低水準で推移する厳しい状況が続きました。

国産針葉樹合板は、販売価格が値下がり傾向で推移するなか、依然として国内出荷量は低迷しており、当社グループを含めた合板メーカー各社は生産調整を継続いたしました。

輸入南洋材合板は、前期において港頭在庫の調整が進んだことから入荷量に持ち直しの動きが見られたものの、国内需要は依然として弱含みであり、販売価格は緩やかな値下がり傾向が続きました。また、仕入コストの高止まりによって低採算となる厳しい状況が続きました。

この結果、合板事業の売上高は19,909百万円(前年同期比11.6%減)、セグメント利益は2,030百万円(前年同期比56.5%減)となりました。

〈セグメント別売上高及び損益〉

	売上高(百万円)	前年同期比 (%)	構成比(%)	セグメント利益	前年同期比
				(百万円)	(%)
住宅建材事業	29,396	△5.1	59.6	△43	—
合板事業	19,909	△11.6	40.4	2,030	△56.5
調整額※	—	—	—	△1,297	—
合計	49,305	△7.8	100.0	689	△80.4

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去、並びに各報告セグメントに配分していない全社費用です。

(2) 財政状態に関する説明

◇資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は75,056百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,314百万円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金の増加1,038百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少1,877百万円、製品の減少415百万円、仕掛品の減少162百万円、原材料及び貯蔵品の減少448百万円、建設仮勘定など有形固定資産の増加1,431百万円、投資有価証券の増加512百万円、繰延税金資産の減少1,367百万円などによるものです。

負債は33,525百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,195百万円増加いたしました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少285百万円、長期借入金の増加846百万円、その他に含まれる繰延税金負債の増加641百万円などによるものです。

純資産は41,531百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,510百万円減少いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失による利益剰余金の減少1,936百万円及び配当による利益剰余金の減少753百万円、その他有価証券評価差額金の増加389百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、2024年11月期の通期連結業績予想を修正しております。内容等の詳細につきましては当該資料をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,743,257	23,781,933
受取手形、売掛金及び契約資産	12,091,582	10,213,879
製品	8,235,777	7,820,172
仕掛品	1,581,170	1,418,678
原材料及び貯蔵品	3,475,991	3,027,613
その他	674,131	823,481
流動資産合計	48,801,910	47,085,758
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,166,527	3,471,785
機械装置及び運搬具（純額）	5,075,198	5,016,241
工具、器具及び備品（純額）	403,398	361,761
土地	6,264,430	6,232,928
立木	124,806	123,119
リース資産（純額）	286,185	312,866
建設仮勘定	799,389	2,032,390
有形固定資産合計	16,119,936	17,551,093
無形固定資産	540,335	374,912
投資その他の資産		
投資有価証券	8,619,860	9,131,926
繰延税金資産	1,513,163	145,583
その他	778,194	769,152
貸倒引当金	△2,000	△2,000
投資その他の資産合計	10,909,218	10,044,661
固定資産合計	27,569,490	27,970,667
資産合計	76,371,401	75,056,426

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,298,001	11,012,244
短期借入金	7,466,065	7,456,588
未払金	1,874,533	2,122,778
賞与引当金	-	458,755
未払法人税等	196,885	54,119
設備関係支払手形	1,172,560	1,757,645
その他	2,031,980	1,031,797
流動負債合計	24,040,027	23,893,929
固定負債		
長期借入金	1,861,090	2,707,420
リース債務	421,527	331,058
環境対策引当金	13,073	10,762
長期末払金	69,420	44,860
退職給付に係る負債	5,914,475	5,885,405
その他	10,750	651,987
固定負債合計	8,290,336	9,631,493
負債合計	32,330,363	33,525,423
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,141,000	2,141,000
資本剰余金	1,587,822	1,587,822
利益剰余金	34,071,064	31,380,559
自己株式	△706,189	△1,174,189
株主資本合計	37,093,696	33,935,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,604,878	1,994,382
繰延ヘッジ損益	△5,225	△9,776
為替換算調整勘定	378,674	480,388
退職給付に係る調整累計額	△270,870	△216,922
その他の包括利益累計額合計	1,707,457	2,248,071
非支配株主持分	5,239,883	5,347,738
純資産合計	44,041,037	41,531,002
負債純資産合計	76,371,401	75,056,426

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年12月1日 至2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年12月1日 至2024年8月31日)
売上高	53,482,412	49,305,603
売上原価	39,975,384	38,952,330
売上総利益	13,507,028	10,353,272
販売費及び一般管理費	9,995,404	9,663,674
営業利益	3,511,623	689,598
営業外収益		
受取利息	1,598	2,379
受取配当金	75,498	106,291
受取保険金	3,663	73
為替差益	30,721	-
持分法による投資利益	74,704	16,138
その他	77,805	59,214
営業外収益合計	263,992	184,097
営業外費用		
支払利息	53,859	62,743
売上債権売却損	22,014	32,431
為替差損	-	14,098
その他	15,546	29,671
営業外費用合計	91,421	138,945
経常利益	3,684,194	734,751
特別利益		
補助金収入	252,480	-
固定資産売却益	1,992	2,807
投資有価証券売却益	1,157	-
特別利益合計	255,630	2,807
特別損失		
固定資産除却損	65,702	89,827
固定資産圧縮損	252,480	-
災害による損失	16,215	-
特別損失合計	334,397	89,827
税金等調整前四半期純利益	3,605,428	647,731
法人税、住民税及び事業税	949,111	518,033
法人税等調整額	5,025	1,817,032
法人税等合計	954,137	2,335,065
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,651,290	△1,687,333
非支配株主に帰属する四半期純利益	588,577	249,529
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,062,713	△1,936,862

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,651,290	△1,687,333
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	574,344	404,320
繰延ヘッジ損益	28,811	△4,551
為替換算調整勘定	128,811	△72,322
退職給付に係る調整額	55,573	53,948
持分法適用会社に対する持分相当額	81,034	217,545
その他の包括利益合計	868,575	598,940
四半期包括利益	3,519,866	△1,088,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,905,243	△1,396,248
非支配株主に係る四半期包括利益	614,622	307,855

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	住宅建材事業	合板事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又は サービス	30,760,078	22,516,022	53,276,100	—	53,276,100
一定の期間にわたり移転され る財又はサービス	206,312	—	206,312	—	206,312
顧客との契約から生じる収益	30,966,390	22,516,022	53,482,412	—	53,482,412
外部顧客への売上高	30,966,390	22,516,022	53,482,412	—	53,482,412
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	2,108,206	2,108,206	△2,108,206	—
計	30,966,390	24,624,228	55,590,618	△2,108,206	53,482,412
セグメント利益	244,103	4,665,410	4,909,513	△1,397,890	3,511,623

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等△2,265千円、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に一般管理費)△1,395,625千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

3. 収益認識に関する会計基準の適用指針第95項に定める代替的な取扱いを適用することにより、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識している工事契約については、一時点で移転される財又はサービスに含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	住宅建材事業	合板事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又は サービス	29,207,790	19,909,367	49,117,157	—	49,117,157
一定の期間にわたり移転され る財又はサービス	188,446	—	188,446	—	188,446
顧客との契約から生じる収益	29,396,236	19,909,367	49,305,603	—	49,305,603
外部顧客への売上高	29,396,236	19,909,367	49,305,603	—	49,305,603
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	1,753,975	1,753,975	△1,753,975	—
計	29,396,236	21,663,342	51,059,578	△1,753,975	49,305,603
セグメント利益又は損失(△)	△43,514	2,030,590	1,987,076	△1,297,478	689,598

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等42,841千円、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に一般管理費)△1,340,319千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

3. 収益認識に関する会計基準の適用指針第95項に定める代替的な取扱いを適用することにより、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識している工事契約については、一時点で移転される財又はサービスに含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
減価償却費	1,529,184千円	1,356,534千円